

HMP155 湿度温度プローブ

VAISALA

Product Spotlight

持続可能な未来のための信頼できる気象観測

非常に厳しい環境下においても精度と信頼性を維持

空気中の水分が飽和に近い高湿度の気候や温度が変化する環境において、正確なデータを取得することは特に困難です。ヴァイサラ HUMICAP® HMP155 湿度温度プローブは、これらのような環境に向けて特別に設計されています。



主な特長

PC ベースの簡単な校正は、本体のプッシュボタンまたは MI70 指示計を使用します。USBケーブルを接続してアクセスします。

全天候型ハウジング（IP66）により、継続的かつ安定したデータ収集とレポート作成を提供します。

柔軟な出力の選択肢には、電圧、RS-485、白金測温抵抗体 Pt100 が含まれています。

加温プローブ技術（オプション）により、結露しやすい環境の正確な計測と優れた長期安定性を実現します。

ケミカルパーズ機能（オプション）は、湿度センサチップに付着した化学物質を定期的に除去することで、汚染化学物質の蒸気に起因するセンサのドリフトを低減します。道路や海事産業向け設備への設置に最適です。

追加温度プローブ（オプション）は、迅速かつ正確に温度を計測できます。リキッドバス校正に対応しています。

ヴァイサラが選ばれる理由

気象・環境観測のグローバルリーダーとして、ヴァイサラは持続可能な未来のために信頼性の高い気象観測を提供しています。85年以上にわたって培ってきた経験と、北極および南極から火星に至るまで、世界170か国以上での実績によって、より良い、より安全な日常生活のために、最も信頼性の高い正確な気象および気候情報を提供することに取り組んでいます。

当社の観測機器と気象情報は、精度と信頼性の業界最高水準として知られています。サステナビリティのリーダーとして、私たちは気象学の専門家が気候変動をよりよく理解し、予測し、説明できるよう支援しています。私たちは、気候変動対策やすべての人にとってより良い地球を実現するための新たな方法を探求し続けます。

HMP155 湿度温度プローブは、熱帯、沿岸、海洋環境など、さまざまな環境下で湿度を迅速かつ正確に計測します。加温プローブ技術と最新の HUMICAP® R2 センサ技術を備えた HMP155 は、過酷な環境の中でも特に、化学物質、霧、霽、雨、結露によって正しい計測が妨げられる可能性のある状況下において、優れた長期安定性を発揮します。

用途

- 遠隔地にある気象ステーションにおいて湿度と温度のデータを記録。
- 短期および長期予報、気象分析、気候調査のための気象状況の情報を継続的に収集。
- 気象状況の監視による道路の安全性に関する報告と計画の促進。
- 接近する嵐が道路や走行状況に与える影響を予測するための状況監視。
- 高速道路のメンテナンスと航空機の運航の生産性を最大化しながら、運用上の安全性を実現。

優れた長期安定性

過酷な環境に耐えるように設計された HMP155 は、多孔質テフロンフィルタで保護された堅牢なプローブ構造により、化学物質、水、埃、汚れから最大限に保護されます。新しい HUMICAP® R2 センサは、HUMICAP® 180R センサと比較して、より優れた耐腐食性を備えています。

あらゆる状況下で正確なデータを提供

HMP155 は、-80°C までの急激な温度変化でも信頼性の高い計測を実現します。加温プローブ技術により、HMP155 は結露が生じる環境下でも湿度を正確に計測できます。また、化学物質による汚染を減らし、ドリフトを最小限に抑えるのにも役立ちます。

品質保証とトレーサブルな校正

HMP155 は、ヴァイサラの工場では一台一台調整と校正が行われており、SI トレーサブルな基準が適用されます。計測範囲全域にわたって高精度を確保するために、完全に乾燥した状態からほぼ飽和した状態までの湿度範囲において、標準の工場出荷時校正として 6 点校正が行われます。

